大仙市立太田南小学校 学校報





令和3年度 第8号 令和3年4月30日

《学校教育目標》夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

有意義な連休に

ぐるりとグラウンドを囲み、青空に映える満開の桜(先週が満開でした)、その下を元気に体育学習に励む子どもたちの姿…。「がまん」の先に未来があることを信じて、学校では対策をとりながら日々の学びを続けています。一番「がまん」しているのは子どもたちです。これから何をするにもとてもよい季節となる5月を迎えるというのに、マスク生活を続けなければなりません。手洗い・うがいも欠かせません。家族でのお出かけも制限されたものになると思います。



コロナウイルス感染防止はもちろん,事故にも気を付けて,ゴールデンウイークを安全に過ごすようにお願いいたします。

- ○不要不急の外出を避けましょう。3密を避けましょう。
- ○出かける際はマスクをしましょう。
- ○手指消毒,うがい,手洗いをしっかりしましょう。
- ○検温等健康観察に努めましょう。(家族も)
- ●お子さんのこと, ご家族のことで何かありましたら, 教頭に(つながらない場合は校長に) 連絡をお願いいたします。

教頭	()
校長	()

一人勉強ノート,続けてがんばっています

1年生の一人勉強ノートはもう少し先になりそうですが、2年生以上のノートを全員分見ることができました。担任の先生たちは、子どもたちの様子に目をやったり次の授業の準備などがあったりしますので、毎日のコメントはなかなか難しい状況です。そこで、曜日を決め、私が出張ではない日は2学年ずつ見させていただくことにしました。一人一人の4月初日からのがんばりが感じられて、見ていてとてもうれしい気持ちになりました。

「一人勉強ノート」で行うのは、得意教科をより理解する勉強でも、苦手教科を克服する勉強でもどちらでもいいと思います。バランスが大事だなとも思います。子どもたちが自分で「これを今日はやる」と決めて、自宅で自主的に学習する時間をもつ。この自主性が大事です。これは「秋田県の自学ノート」ということで、本にもなっているくらいに秋田県では浸透していますし、全国で話題になっています。

主導権は子ども。他者からの押し付けではなく,自分で課題を決めて実行する。親や教師はあくまで,実行しようとする子どもを見守り,少しだけ後押ししたりアドバイスしたりする。そんなふうでありたいものです。

どうか、「がんばってるな!」「えらいぞ!」の励ましの声かけをお願いいたします。

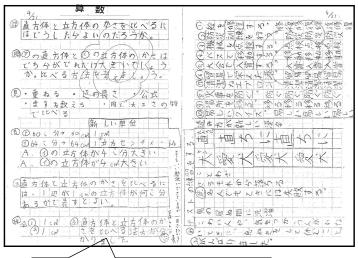
<一人勉強ノートのねらい>

- ●子どもが自分で計画して実行する。
 - →家での学習を習慣化し、自ら学習の計画を立てる。
- ●子どもが自ら課題を見つけ、解決する。 →学習のつまずきを自分で発見し、解消する。
- ●子どもが自ら進んで興味のあることにチャレンジする。
 - →学ぶことの面白さを子どもたち自身が見い出す。

今はまだ、南っ子のノートは漢字練習や計算練習が多いのですが、歴史上のある人物についてとことん調べてみたり、虫博士になるくらい昆虫のことを調べてみたり、そういうスペースがちょっとずつあってもいいと思うのです。漢字練習をして少し空いたスペースに織田信長のことを書いてみるとか、計算練習をして余った2行分をアゲハの幼虫のことを調べて書くとか…。

魚が好きすぎて魚博士になった「さかなクン」,昆虫が大好きな俳優で歌舞伎役者の「香川照 之さん」,伊達政宗が好きすぎて詳しく調べていたら,そのことでテレビに出た子どももいまし た。何の番組だったかなあ?

私はとにかく算数が大好きで、日課のように毎日予習をしていたら、秋には教科書を全部終えてしまったという、そんな子どもでした。



5年〇〇〇〇さんのノートです。びっしり 書き込まれていること、算数の時間の問題 と課題、まとめをもう一度復習していると ころがとても参考になると思います。

5年〇〇〇〇さんのノートです。音読み、訓読みをチェック し、自分で「丁寧に書く」と目標を決めているところが素晴 らしいと思います。

